

新年のご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は OISDE の活動にご協力を賜り、本当にありがとうございました。昨年は特に、OISDE の国際貢献ボランティア活動に対して医療功労賞と同時に厚生労働大臣賞を受賞し、OISDE の社会活動が大いに認められた素晴らしい一年でしたが、その一方でウクライナ戦争の勃発、中国の一带一路を介した覇権主義による社会情勢の不安定化とリスクが顕在化し、加えて、コロナが追い打ちをかけるように、我々のような国際貢献活動を実施している団体が支援している途上国への ODA による資金協力が後回しにされるという状況になりました。

「後回し化現象」とは

ODA(無償資金協力)などいわゆる国家予算による資金協力分野の予算がウクライナ及び周辺国へ中心的に分配によって起こる「その他の途上国に対する資金協力を後回し(あるいは中止)にする現象」の事で、昨年度から我々がターゲットとしている途上国への資金協力が完全に滞っています。OISDE のラオス事務所長の持田氏の報告によると、N 連などの継続案件を除き、長年、ラオスのために尽くしてきた団体のほとんどが案件が採択されず、本来の ODA の意味を失いつつあります。

「これからの事へのお願い」

OISDE もそんな例に漏れず、ラオスにおけるデンタル・ナース学校創設の案件も外務省の期待は大きいものがありましたが、「後回し現象」の影響で採択されず、事業がストップせざるを得なくなりました。しかし、デンタル・ナース教育を担う教員養成は継続しなくてはならず、OISDE 専門家の派遣費用、滞在費、通訳、現地スタッフなどの給与など、皆様の寄付金でなんとか継続したく希望します。仮に今年度 2 回プロジェクトを実施したとして 300 万から 400 万程度の予算が必要となります。何とか、金属回収にご協力頂き、この活動がストップしないようご協力をお願い致します。政府も ODA に関して従来のように再度予算をつける方向で検討しているようですので、何とか今年度には N 連を採択できるよう頑張りますので、その間、事業が継続できますようご協力を切にお願い申し上げます。

特活) 歯科医学教育国際支援機構 Mail: oisdetokyo@gmail.com

Web: oisde.com (連絡等はメールにてお願い致します)